



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和 8 年 10 月 16 日発行第 31 号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



音楽のない人生なんて

校 長 武井 正明

秋晴れ感涙の体育祭が終わり、初参加の吉中生に「思っていたより 100 倍良かった!!」と言わしめた真和祭の興奮も冷めやらないうちに、神無月もあっというまに折り返しに差し掛かった。

今週から音楽祭強調週間となっている。昼休みと 6 限後、校内が吉中生の歌声でいっぱいになる。これが堪らない。日中は、廊下から合唱曲の鼻歌や口笛が聞えてくるようになる。なんともウキウキするひとときだ。



恥ずかしながら、私は合唱を歌えない中学生だった。歌を歌うことは好きなのに、人前で歌うのが恥ずかしくて、本番ではいつも口パクだった。図体の割に小心者なのだ。

だから身体を揺さぶって音楽を表現し、多くの聴衆を前に、臆することなく堂々と歌唱技術で聴かせ感動を呼ぶ君たちを、私は心底尊敬する。

私は玉置浩二の四十年来の大ファンである。この天才の歌声を聴いていると、人間はその



肉体自体が、楽器そのものなのだとつくづく思う。

歌詞に生命を吹き込んで、万人に歌い伝える。そして、玉置の歌に人は涙し、励まされ、また明日への一步を踏み出す勇気をもらう…。私も人生の節目で玉置の歌から何度も力を貰った。歌って、本当に素晴らしい。

この二週間は吉田中の校長だけにしか味わえない、贅沢な、至福の時間だ。

斜陽が差し込む時間帯、澄んだ声たちが煙のように湧き上がって校長室まで届いてくる。美しいハーモニーに、得も言われぬ感動を覚える。しあわせだなあ、ありがたいなあ…。

そして私は急いでカメラを携えて、一心に歌っている彼らの表情を、声を、可能な限り拾い集めるのだ。これが最高に満ち足りた時間…。

中学時代の君たちの声は、今この瞬間しか出せない声。音楽祭が終わると、もうこの声たちを聴くことが出来ない。本番前のこの時間が終わっていくのが惜しい。

感動したくて堪らない自分がいる。君たちの声を聴かせてほしい。 (敬称略)

9/18(金)体育祭 flower❀festival～ 3 色の花を満開にさせよう～



9/25(金)新潟県中学校英語
弁論大会 (万代市民会館)



10/10(土)新人野球県大会
(柏崎佐藤ヶ池球場)



10/8(木)中越駅伝大会
(長岡陸上競技場)



10/8(木)真和祭



令和8年度 10 月後半～11 月中旬の主な行事

10/19(月) 後期開始 音楽祭練習④
20(火) 音楽祭練習⑤
22(木) 音楽祭練習⑥
23(金) 音楽祭練習⑦
24(土) 音楽祭
26(月) 音楽祭代休日
30(金) 質問教室(国・数・英)

11/2(月) 質問教室(社・理)
4(水) 第2テスト①
5(木) 第2テスト②
10(火)～24(火) 教育相談期間
11(水) 評議会・専門委員会
12(金) 観劇会